

加藤雅枝 (Masae Kato, PhD, WoW researcher)
レベッカ・ゴンパーツ (Rebecca Gomperts, MD, PhD, WoW founder)

編集協力 大橋由香子 (Yukako Oohashi, editing collaboration)

まとめ

- Women on Web (WoW)は2005年に設立されて以来、世界中の、望まぬ妊娠をした人をオンラインで遠隔から支援する活動をしている。中絶薬は、世界保健機関 (WHO)の必須医薬品にリストされている安全で効果のある薬である。世界保健機関は、妊娠12週までなら、自宅などで中絶薬を使って女性が自分で中絶をすることができることを認めている。
(<https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/332334/WHO-SRH-20.11-eng.pdf>)
- WoWは、支援を受けた全ての女性にアンケートを送っている。2021年1月から12月にアンケートに答えた日本人女性は62人。そのうち46人が中絶薬を服用し中絶を行った。中絶薬を服用した46人のうち9人が中絶後病院に行っている。痛みや出血多量が理由ではなく、中絶が成功しているか確認するためであった。中絶薬を使った中絶の症状と、自然流産の症状は非常に似ているため、病院に「薬を服用した」と伝えた人はいない。また、病院側も、症状を診て自然流産と判断している。9人のうち4人は、子宮内もきれいであり、何の問題もないので、全く処置なしであった。4人は自宅で服用すべく抗生物質を処方された。1人感染症が心配で病院に行った。感染症はなかったが、自然流産後の処置として掻爬手術を受けた。9人とも、病院の対応は適切で、医療従事者も親切だったと答えている。
(注：子宮の中のもの押し出すためには、さらにミソプロストールを服用し、次の月経を待つことも選択肢であるとWoWの医師は指示している。)
- 46人のうち10人が、中絶中、通常の月経より重い出血あるいは痛みを経験し、且つその出血や痛みが予想していた以上だったと答えている。10人とも、24時間以内に出血も痛みも徐々に治まったと答えている。女性の実験の経験から、鎮痛剤で痛みが和らぐことや、つわりなどで吐き気がある場合、座薬が効を奏することが分かった。
- 62人全員が、望まぬ妊娠をしていると知ったときに、「WoWと中絶薬服用の選択が存在していたことに非常に感謝している」と答えている。62人中57人がWoWを他の人にも勧めると答えている。勧めないと答えた5人のうち2人は中絶そのものを躊躇い、妊娠を継続している。あとの3人については本文中で説明する。
- 中絶中予想していたより重い出血や、痛みがあってもじきにおさまるものであり、中絶薬を服用した女性の満足度は非常に高い。
- 結論1 日本の女性は、正しい情報を提供された上で、中絶外科手術・中絶薬服用の選択を自分自身でできるべきである。訓練された医師による中絶外科手術が安全であることはWoWも認識しているが、中絶薬の選択もあるべきである。
- 結論2 中絶を取り巻く日本の現行法制度・医療制度は、女性のニーズに応えられていない。
- 結論3 今日の日本メディアが報ずる中絶薬に関する情報は、WoWが日々接する女性の実体験から程遠い。この報告は、女性の中絶薬服用体験を伝えることを目的としている。
- WoW スタッフの語りも参照。<https://www.womenonweb.org/en/page/21573/www.womenonweb.org-に支援を求める日本人女性の声>

1. はじめに

昨年末2021年12月にラインファーマ社が厚生労働省に中絶薬承認の申請した前後から、マスコミは中絶薬について盛んに報道し、医師などの意見やインタビューも掲載されている。

2005年から中絶薬を提供し女性を支援しているWomen on Web (以下WoWと表記) スタッフにとっては、日本のメディアで報道される中絶薬に関する情報はあまりにも誤解が多いと感じざるを得ない。大量出血が止まらない、陣痛並みの痛み、子宮が破裂するなどの記述は、WoWスタッフが女性から直接受けとる中絶薬を使った感想とはほど遠いものだ。メディアでの報道に影響されてか、WoWにたいしても、日本の女性たちからの「出血が止まらないと聞きましたが本当ですか」「痛みはどれくらいなのですか」などの心配の質問が増えている。

実際、日本の女性たちは中絶薬をどう経験しているのだろうか。ここでは特に、痛みと出血に注目し、2021年にWoWの支援を受けた日本人女性の経験を紹介する。

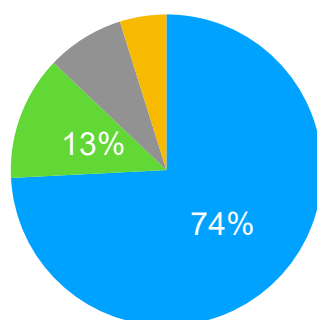
2021年、総計629人の日本に住む女性がWoWに連絡をしてきた。言語は日本語を選択することが可能で、日本語で通信する。578人が妊娠確定していた。629人の中には、中絶や流産に関する質問だけをする人、結果的に妊娠していなかった人、流産した人、活動支援の寄付をする人、最終的に妊娠を継続することを決める人、日本で承認されていない薬を服用するのではなく病院に行くことを決める人などもある。WoWから日本に住む263人へ薬の小包が発送され（そのうち112人が小包を受け取ったと連絡してきた）、さらに62人がWoWとのやり取りをどう経験したか、薬を使った中絶をどう経験したかに関してアンケートに答えている。薬を使った中絶体験に関するアンケートに答えなかった199人の経験はもちろん気になるが、薬を受け取った時点で連絡してこない理由は、1) 日本では承認されていない薬であるため、逮捕などを恐れ、入手時点でWoWと関係を断ちたい、2) 妊娠・中絶という状況によって身体的にも、精神的にも疲れている、などであろう。これらの理由は想像に難くないし、また、実際そう伝えてくる女性たちもいる。62人は薬を受け取った人全体の4分の1ではあるが、中絶薬は日本で承認されていないため、薬を使って中絶をする人は日本に存在しないという前提があり、日本人女性を対象にしたデータも調査も存在しない。このため、62人の中絶薬服用の経験を紹介することには、大きな意義があると著者は考える。

アンケートに答えた62件のうち、46件が中絶薬を服用した。WoWは中絶を勧めているわけでも、強制しているわけでもなく、薬を受け取った女たちは、最終的に薬を服用するかどうか自分の意思で決めており、妊娠を継続する人もいるし、また、途中で自然流産する人もいる。出血や痛みに関する体験は、中絶薬を服用した46人が答えている。薬を服用しなかった16人は、痛みや出血などに関する質問には答えていないが、望まぬ妊娠が分かった時にWoWが存在したことや、中絶薬を服用する選択があったことをどう感じたかなどに回答しており、また、WoWの活動へのコメントも記載しているので紹介するデータに含める。また、中絶前・中絶中・中絶後の女性とのメールのやり取りの内容もこの記事作成のためのデータに含める。

グラフ1.中絶薬を服用しましたか？（62人中62人回答）

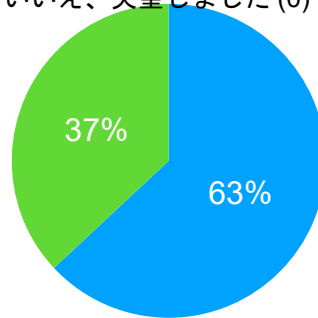
グラフ2. 薬を使った中絶はあなたにとって適切で満足のいく方法でしたか？（62人）

- はい (46)
- いいえ。自然流産しました (8)
- いいえ。他の方法で中絶しました (5)
- いいえ。妊娠継続しました (3)



グラフ 3. 望まぬ妊娠がわかった時、WoWの支援で中絶薬を服用し、自宅で中絶する選

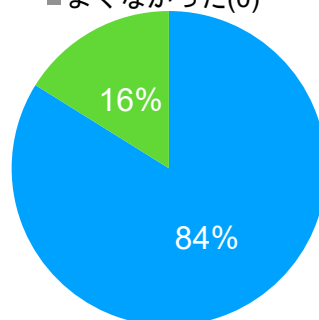
- はい、とても満足しています (29)
- はい、満足しています (17)
- いいえ、満足していません (0)
- いいえ、失望しました (0)



択肢があつたことをどう感じましたか？ (62)

「WoWを他の人にも勧めるか」という質問には62人中、57人が勧めると答えている。勧めないと答えた5人のうち、2人は妊娠継続しており、中絶薬を服用していない。以上の

- とてもよかった(52)
- 受容範囲(10)
- よくなかった(0)



ように、中絶薬を服用して中絶をおこなった女性たちの満足度は圧倒的に高い。しかし、自宅で、中絶薬を自分で飲むという中絶をしているあいだ、出血・痛み・その他の不安が全くなかったわけではない。彼女たちは中絶をどう体験したのだろうか。以下では、出血・痛み・出血痛み以外の不安や不満に焦点を絞り、アンケート集計と、彼女たちのコメントを紹介する。また、中絶薬での中絶をしたあと病院に行った9人の理由や背景、WoWを他の人には勧めないと答えた3人の理由や背景も紹介する。

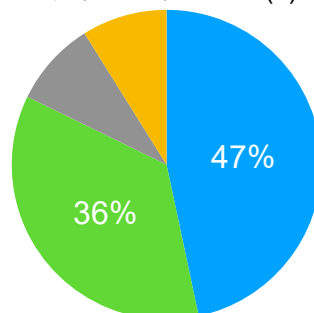
2. 予期していたより多かった出血

では46人の女たちは出血をどう感じたのだろうか。

グラフ4 出血をどう感じましたか？

四択のうち最多は「通常の月経より多かった」である。WoWは、中絶前、すべての女性に「痛みや、出血は、通常の出血より多いが、普通24時間くらいで徐々に治まってくるはず」「中絶後、通常、1週間～3週間かけて徐々に出血は減少していくが、長く続くこともある、月経は4週間～6週間後に戻って来る」ということと、「合併症の兆候」、特に

- 通常の月経よりも多かった (21)
- 通常の月経よりずっと多かった(16)
- 通常の月経のようだった(4)
- 通常の月経より軽かった(4)



大量出血に関しては「1時間に2つ以上大型ナプキンを変えなければならない量」という情報も提供する。だから、通常の月経より多い出血は、女性が予期していることである。

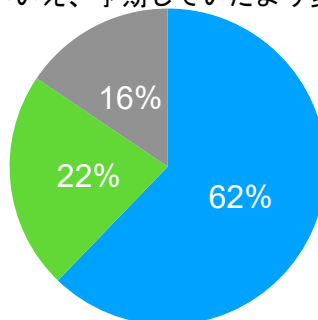
- 中絶中に予期される痛み・出血、リスクと合併症の兆候についてはこちら。
<https://www.womenonweb.org/ja/abortion-pill#toc5>
- いつ出血し始めて、どれくらい続くのでしょうか？
<https://www.womenonweb.org/ja/page/523/経口妊娠中絶薬に関する質問と回答>

これらの情報に照らし、女たちは中絶する前に出血の量を想像するだろうが、実際、予期に対して出血の量はどうかと感じているのだろうか？

グラフ5 出血は予期していた通りでしたか？

「ほぼ予期していた通りだった」が最多数であり、「予期していたより少なかった」は、

- はい。予期していた通りでした (28)
- いいえ、予期していたより少なかった (10)
- いいえ、予期していたより多かった (7)



「予期していたより多かった」より多い。出血が通常の月経よりずっと多かったと体験した16人のうち9人は、その痛みが「ほぼ予期していた通りである」と答えている。

ここでは、出血という点に関して、比較的大変だったケース、つまり「出血が通常の月経よりずっと重く」かつ「予期していたより多かった」と答えたケースと、1時間に2つ以上のナプキンが必要であった出血、つまり大量出血を体験したケース7人の中絶体験に注目する。

表1 出血が通常の月経より多く、予期していたより多かった7人

ケース	中絶時週数、年齢	中絶外科手術経験	中絶後病院・治療・中絶成功の確認	出血、WoWに支援を求めた理由、その他。
イ	10週、29歳	なし	中絶薬服用の翌日病院。自然流産後の処置（掻爬）	出血は1時間に2つ以下のナプキンを使う程度で、多量ではなく、また徐々に減少はしたものの、1週間、月経程度の出血が続いた。妊娠したことを誰にも言えない。外科手術は高額。中絶は後悔していないが、気持ちは沈み、罪悪感を感じる。念のため翌日病院に行く。
ロ	12週、29歳	1	病院には行っていない。妊娠の症状が消えた。	出血が始まって2時間、1時間に2つのナプキンが必要な出血。強い痛みも経験している。しかし、翌日以降痛みも出血も減少。1ヶ月おりものに少量の血が混ざっている。大量出血でなく、おりものは、大体が白色で匂いもないが、WoW医師の勧めで、一応病院に行くようにスタッフが伝える。中絶から6週間後に月経らしい出血があり、通常に戻った。WoWの支援と中絶薬は自分に適切であったと答えている。WoWに非常に感謝している。一度経験した外科手術はイヤな思い出で、高額すぎた。62人の中で妊娠が一番進んでいるケース。
ハ	8週、22歳	なし	病院に行っていない。月経が戻ってきて、妊娠検査陰性が出た。	月経より多い出血で中絶が始まった。量は徐々に減ったが、出血が3週間続いた。パートナーが妊娠を知ったら生まされる。外科手術は高額。自分で実感を持って中絶をしたい。
ニ	6週、30歳	1	病院に行っていない。月経が戻ってきた。	中絶が始まった時の出血の量には驚いたが、事前に知らされていたので、こんな感じかな、と思った。出血は徐々に減少して、時々出血が3週間あった。パートナーに知られたくない。自分の決めた場所で中絶をしたい。医療従事者の中絶反対の態度がイヤ。
ホ	8週、27歳	1	翌日病院。抗生物質を処方された。	中絶が始まった時の出血は多いと感じたが、出血もじきにおさまり、中絶の症状は予期していた通りだったが、念のため病院に行く。超音波検査によると、内容物はほとんど残っていなかった。

へ	8週、30歳		1 病院に行っていない。月経が戻ってきて、妊娠検査陰性が出た。	子供が小さくて病院にも行けないし、入院もできない。妊娠が分かった時、中国から中絶薬を購入したが何も起こらなかったのもので、今度はWoWにお願いしたい。そんなわけで週数が過ぎてしまい、中絶はじめての1-2時間は出血が多かった。少量の出血が3週間続いた。
ト	9週、30歳	なし	病院に行っていない。妊娠症状消えた。	月経より多い出血だったが、大量出血ではなく、1週間で止まった。日本で中絶のことを話すと変な目で見られる。パートナーと二人だけのプライベートにしたい。
チ	9週、27歳		2 超音波。中絶の成功、内容物も残っておらず、特に処置なし。いつ病院に行ったのか覚えていないが、中絶数週間後。	中絶が始まってから1時間の間、1時間に2つのナプキンが必要な出血。その後、出血は徐々に減少するが、月経より少ない出血が3週間続いた。念のため、病院に行った。

7人中3人が中絶後、病院に行っている。ケース（イ、29歳、中絶時10週、初めての妊娠）は、大量出血ではないが、出血が続いていることと、痛みも予期していたより大きかったことで感染症の心配と中絶が成功しているかを確かめるためであった。彼女は「病院は優しく自然流産後の対処してくれた」と答えており、掻爬を受けている。また、中絶後の罪悪感と、落ち込む気持ちを感じるが「全てが順調でWoWに感謝しています」と記している。中絶薬を使った中絶の症状は、自然流産と同じであるため、病院側は自然流産と認識し、流産後の処置を受けている。

*WoWは自然流産後、手術は必ずしも必要ではなく、子宮内にあるものを押し出すため、2錠のミソプロストールを服用し、次の月経まで待つことも可能であることを女性に伝えている。欧米では、自然流産した女性が、病院に行き、手術かミソプロストール服用かを選択できるのが通常である。

<https://www.womenonweb.org/ja/page/523/>経口妊娠中絶薬に関する質問と回答

また、ケース（ロ、29歳、中絶時12週）は痛みが予期していた以上であったことに加え、中絶が始まってから2時間の間、1時間に2つのナプキンを交換する、つまり大量出血の兆候を示した。中絶中に相談をしてきた時、WoW専属医師の勧めで、WoWスタッフはすぐに病院に行くように伝えたが、翌日出血が徐々に少量になったため、病院に行っていない。通常の月経よりずっと重かった痛みは、座薬を服用したら治ったと答えている。妊娠週数が進んでいるほど痛みが大きくなり、出血も増える傾向にあることは事前に伝えている。この女性の場合も、小包到着時点で妊娠10週を過ぎていたため、注意事項提供と共に、なるべく早く薬を服用するようWoWスタッフが伝えている。中絶が始まってから2時間の間、1時間に2つ以上ナプキンを交換する量の出血があったにも関わらず、アンケートでは「出血はほぼ予期していた通りだった」と答えている。

予期していたよりも多い出血があったにもかかわらず、8人とも、WoWの提供した中絶薬に満足している。アンケートの中の「WoWが提供する中絶薬を使って中絶できる選択肢があったことをどう思うか」という質問に対し、8人が「とても感謝している」と答えている。他に「感謝している」「不満足」「失望」の選択肢もあるが、これらの設問には回答していない。

「中絶薬を使って自宅で行う中絶はあなたにとって適切な中絶方法だったか」という質問には、全員が「とても適切だった」と答えている。8人が中絶薬を選んだ理由をまとめると、のべで「外科手術は高額」が7人、「スティグマ、日本で中絶をすると変な目で見られる」「誰にも話せない」「家族に知られると追い出される」などが3人、「自分の手で中絶をしたい」が3人、「パートナーが知ると生まされる」が2人、「パートナーと2人で中絶をしたい」が2人、「子供が小さく、入院できない」が2人、「自分の選んだ場所で中絶したい」が2人、「仕事で入院できない」が1人、「中絶薬を中国から購入して服用したが何も起こらなかった」が1人であった。「他の人にWoWを勧めますか」という質問には、7人が「はい」と答えている。（「勧めない」と応えた一人に関しては後述）8人とも、WoWの提供する中絶薬を使った自宅での中絶に肯定的である。

記載してくれたコメントも紹介しよう。

- 「この度は中絶薬を提供いただき、ありがとうございました。不安でしたが、なんとか中絶に成功しました。一つの生命を無くしたという罪悪感がありますが、これからの生活を考えるとホッとしています」（ハ、中絶時8週、22才、初めての妊娠中絶）
- 「このサービスはとても助かりました。ありがとうございました」（ニ、中絶時6週、30才、今回6度目の妊娠、自然流産2度、子供2人、中絶外科手術1度）
- 「この支援のおかげで、私自身、体調も良くなり、身体の負担も少なく中絶が行えたと思います。早く日本でも中絶薬が承認されて選択肢の一つとなることを願います。このような支援制度を提案し、実施してくれてありがとうございます」（ホ、中絶時8週、27才、子供2人、自然流産1、中絶外科手術1度）
- 「日本では中絶は高額で、麻酔薬の使用など中絶することが困難です。こちらを知ることができて安心しました。日本でもこの中絶方法が承認されるといいと思います。親切な支援をありがとうございました。誠実な対応に感謝致します。」（ヘ、中絶時妊娠8週、30才、子供2人、共に帝王切開で出産、自然流産2度、中絶外科手術）
- 「中絶を自分にもできるんだ、と知ることができました。Women on Webとのやり取りは親切で励みになりました。感謝しています」（ト、中絶時9週、30才、初めての妊娠中絶）
- 「遠くから支援をしてくださり、とても感謝しています」（ロ、中絶時12週、29才、子供2人、中絶外科手術1度）

ここから、出血が月経よりずっと多く、それが予期していたよりも多かった人も、結果的に中絶は成功しており、病院でも大きな処置を受けることもなく、振り返ると満足していることがわかる。なお、中絶中・中絶後2日以上続く38度以上熱・アレルギー・痛みが徐々に小さくなるのではなく大きくなるなどは感染症の症状であるため、これらの症状があったらすぐに病院に行くことを中絶前に知らせている。しかしこれらの症状が出た人はいない。また、ケース（ロ）や（ニ）のコメントから、事前に予期される出血を知っておけば、安心していただけることもわかる。

3. 予期していたより大きな痛み

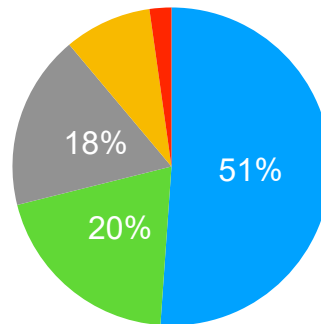
では、女たちは、薬を使った中絶の痛みをどのように経験しているのだろうか。

グラフ6 痛みをどう感じましたか？

五択中最多は「通常の月経より痛かった」である。

さらに「経験した痛みが予期していた通りでしたか？」という問いに対しては、60%が「ほぼ予期していた通りだった」と答え、16%が「予期していたよりも大きかった」と答えている。出血同様、薬を使った中絶に伴う痛みは、通常の月経より大きいことが多く、「痛みが通常の月経よりずっと大きかった」と答えた9人も、4人は「ほぼ予期して

- 通常の月経より大きかった(23)
- 通常の月経よりずっと大きかった(9)
- 通常の月経のようだった(8)
- 通常の月経より軽かった(4)
- 痛み全くなし1



いた痛みだった」と感じている。

グラフ7 経験した痛みは予期していた通りでしたか？

ここでは「痛みが通常の月経よりずっと大きく」その痛みが「予期していたより痛かった」と感じた5人に注目したい。彼女たちは中絶薬の中絶をどう経験したのであろうか。

- はい、予期していた通りでした(27)
- いいえ、予期していたより軽かった(11)
- いいえ、予期していたより重かった(7)

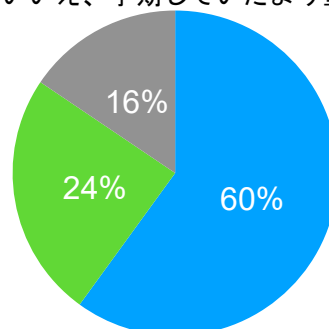


表2のイ・ロ・トの3ケースは出血も多かったと答えたケースとして、表1でも紹介している。つまり、これらの3ケースは、痛みも出血も大きかったケースである。

表2 痛みが通常の月経より大きく、予期していたよりも大きかったケース

	中絶時週数、 年齢	中絶外科 手術経験	中絶薬後の病 院、治療	痛み、WoWに支援を求めてきた理由、その他。
リ	6週、26歳	なし	病院行っていない。中絶後妊娠検査で陰性。	痛みは月経痛より大きかったが、事前にそう聞いていた。中絶1時間前に鎮痛剤を服用した。外科手術は絶対にイヤだった。
ヌ	7週、30歳	なし	病院行っていない。妊娠の症状が消えた。	痛みのピークは、中絶が始まってから3-4時間の時点で、痛みは1日続いた。中絶後3週間の間、月経より少ない出血があった。外科手術はイヤだった。仕事で休めないし、高額。つわりがひどく、中絶薬でさえ、口に入れた途端嘔吐するのではと心配をしていた。鎮痛剤なし。
イ*	10週 29歳	なし	中絶薬服用の翌日病院。自然流産後の処置（掻爬）。	中絶中の痛みも出血も予期していたより大きかった。感染症の心配があったのと、中絶を確認したいという理由で病院に行った。中絶中鎮痛剤なし。
ロ*	12週 29歳	1	病院には行っていない。妊娠の症状が消えた。	週数が大きかったので、辛かった。白い袋のようなものがでてきて、痛みが徐々に治まってきた。座薬の鎮痛剤を服用した。
ト*	9週、30歳	なし	病院に行っていない。妊娠症状消えた。	痛みなど辛かったが乗り越えた。鎮痛剤なし。

5人うち1人が病院に行っているが、これは、前述の、29才中絶時8週、出血も痛みも予期していたより大きく、感染症を心配したケース（イ）である。口から鎮痛剤を服用したが、痛みが始まってからの服用であったため、痛みをうまく抑えることができなかった。（通常、ミソプロストール服用1時間前の鎮痛剤服用が最善であると伝えている。WoWは、痛み止めが必ず必要だとは指示していない。情報のみ提供する。）

またもう1人、予期していたより大きな痛みを体験した女性は、つわりがひどかったため、鎮痛剤を口から服用することを非常に難しいと考え、服用しなかったケースである（ヌ）。30才、かつて自然流産を2度経験しており、中絶時は妊娠7週であった。中絶薬に関しても、本来ならばミソプロストールは、舌の下に30分置いて溶かすのだが、つわりがひどいため、水で一気に飲んでもいいか質問をしてきている。これに関しては、WoWスタッフが専属医と相談し、舌の下に置き、溶かすことよっての服用を勧め、薬を吐いてしまった場合などのアドバイスをした。この女性に関して他に特筆すべき点は、出血である。中絶後3週間の間、継続的に月経より少ない程度の出血があったため、本人が心配している。WoW専属医の助言ですぐに病院に行くことを勧めたが、じきに出血の量が減少していき、病院に行っていない。6週間後に月経が戻ってきて、その後も規則的な月経がきている。出血に関しては、予期していたよりも少なかった、と答えている。中絶中、透明の白い袋のようなものがでてきたことを確認し、また、ひどかったつわりも消えたことによって中絶成功を確認している。

5人がWoW提供の中絶薬を選んだ理由はのべで以下の通りである。

「外科手術が高額」3人、「仕事で病院に行けない」2人、「家でパートナーと一緒にいたい」2人、「日本では、中絶のことを誰にも話せない」2人であった。

アンケートの中の「WoWが提供する中絶薬を使って中絶できる選択肢があったことをどう思うか」という質問に対し、5人中5人が「とても感謝している」と答え、1人が「良かった」と答えている。「不満足」「失望」と答えている人はいない。「他の人にWoWを勧めますか」という質問には、5人全員が「はい」と答えている。「中絶薬を使った中絶はあなたにとって適切な方法だったか」という質問には、5人中3人が「とても適切だった」と答え、2人が「受け入れられる範囲」と答えた。「受け入れられる範囲」と答えた理由は、1人は「中絶そのものへの罪悪感」(リ)ともう1人は「つわりがひどく、小包到着までの10日間が辛かった」(ヌ)であった。それでも2人とも、「他の人にWoWを勧める」と答え、「中絶薬で中絶という選択があって感謝している」。理由は、「外科手術がイヤだった」「仕事で病院に行く時間がない」「外科手術は高額」「知らない人が中絶の場にいるのがイヤだ」であった。

なお、ここで紹介した5人のうち、3人が鎮痛剤を服用していない。中絶薬を服用した46人中28人、つまり62%が痛み止めを服用したことを考えると、痛み止めをうまく利用することにより、痛みを軽減できることも考えられる。つわりがひどく吐いてしまいそうな時は、座薬を服用することも可能である。なお、38度以上の高熱が数日続く、痛みが治まらず、だんだん大きくなる、などが合併症の症状だが、合併症を起こしたケースはなかった。

4.大きな痛みと出血量以外に痛みと出血に関して不安を感じたケース

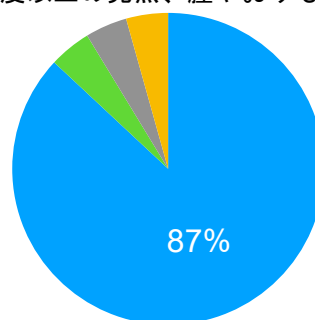
痛みの大きさや出血の多さ以外で、中絶中・中絶後「何か問題があったか」という質問に対し、6人が具体的な症状を記載している。そのうち2人が「中絶後、出血が少量になっても数日間、下腹部に鈍い痛みを感じた」、2人が「ミソプロストールを服用しても、痛みや出血が起こらなかったのに、中絶が起こっていないのではないかと心配した」、2人が出血多量を心配したケースである。出血多量を心配したケースは、ロとニであり、先に紹介しているので、ここでは「出血がおさまっても、鈍痛が続いた」2ケースと「中絶が起こっていない心配をした」2ケースを紹介する。

グラフ8 中絶中、中絶後に何か不安や不満はありました

i) 数日間下腹部に痛みを感じた2ケース (ル、ヲ)

表3 数日のあいだ下腹部に鈍痛があったケース

- いいえ (40)
- 中絶後、数日以上痛み継続(2)
- 出血多量の疑い(2)
- 出血や痛みが起こらないかと思った(2)
- 予期していたよりずっと大きな耐え難い痛み(0)
- 39度以上の発熱、膣やおりもの異臭(0)



	中絶時週数、年齢	中絶外科手術経験	病院、中絶確認	痛みその他
ル	9週、26歳	2	病院行っていない。妊娠の症状が消えた。	下腹部の痛みはいつも気になったが、我慢できたし、鎮痛剤を服用した。外科手術も中絶薬もイヤだったけれど、中絶薬の方がマシ。WoWの支援はあってよかったけれど、罪悪感を感じている。中絶のことはもう話したくない。痛みや出血のこともこれ以上書きたくない。WoWのことも特に他の人に勧めたりしない。忘れたい。
ヲ	9週、30歳	なし	病院に行っていない。妊娠の症状が消えた、妊娠検査陰性。	コロナウイルス危機で、外に出たくなかった。中絶後の痛みは、鎮痛剤を服用して、我慢できたが、3週間ほど鈍痛があった。このサービスのおかげで、私の体調も心も軽くなり、負担も少なく中絶が行えた。日本でも早く中絶薬が承認されて欲しい。WoWのようなシステムを提案して、実施してくれて感謝している。

2人とも、痛みが続いた、それは不愉快だったと答えているにもかかわらず、アンケートでは「我慢できた」「予期していた通りだった」「通常の月経と同じくらいの痛みだった」と答えている。熱、感染症はなかった。2人とも、中絶薬で中絶という方法が「とても適切だった」と答え、WoWの支援にも「とても感謝して」いる。ケース(ル)は、アンケートに答えてくれたものの、中絶に対して罪悪感を感じる、と答えており、痛みや出

血がどうであったか具体的に話したくない、と書いている。外科手術を選ばなかった理由は値段が高額であるため。

ケース（ワ）は中絶中の痛みや出血は予期していた通りであり、出血とともに白っぽい塊が出てきてから出血も痛みも軽くなった。妊娠の症状も消えた。高齢の両親と同居しているため、コロナウィルス感染が心配で外出したくなかったし、病院には行きたくなかったという。

ii) 出血や痛みが十分でなく、中絶が起こっていないと心配したケース

ミソプロストールを服用しても痛みや出血が始まらずに本当に中絶が起こっているのか心配だった2ケースはどうだろう。（ワ、カ）

表4 出血や痛みが十分でないと感じたケース

	中絶時週数、年齢	中絶外科手術経験	病院、中絶確認	痛み出血その他。
ワ	7週、29歳	なし	病院には行っていない。妊娠の症状が消えた。妊娠検査。	中絶が起こらないと焦り、非常に心配したが、予期していたよりも少量かつ小さい痛みがきた。コロナウィルス危機下、外に出たくない。
カ	6週、36歳	3回	病院に行き、超音波検査で中絶成功確認。処置なし。	3回中絶外科手術と1回の自然流産経験があり、中絶薬を使った中絶の症状が外科手術や自然流産よりも軽いことから、中絶が本当に起こっているのか心配だったが、しばらくして出血と痛みがあった。念のため、病院で中絶成功の確認。

ケース（ワ）は、「一時は心配したものの、服用の指示をしっかりと守ったので、中絶できました。中絶薬があつてよかったし、また、WoWにも感謝しています。特に、コロナウィルス危機下、このようなサービスはとても大切だと思います」と述べている。

ケース（カ）は、「WoWの支援は、受け入れられる範囲」と答え、「WoWを人には勧めない」と答えている。この理由は、中絶が起こっているか不安だったということもあろうが、コメントを目にすると、望まぬ妊娠に至った経緯への不満も、彼女の中絶への評価に影響していると言えよう。この点は後に言及する。

これらのケースは、妊娠6週と7週と、ごく初期の妊娠である。一般的に、妊娠週数が低い方が出血や痛みも小さい傾向があるため、痛みや出血をそれほど感じなかったのは、妊娠ごく初期の中絶であったことも一つの理由であると考えられる。

*痛みや出血が起こらない場合に考えられることについても、以下のような情報を事前に提供している。

<https://www.womenonweb.org/ja/page/6906/服用後の経過>

<https://www.womenonweb.org/ja/abortion-pill#toc5-3>

5. 病院に行った9人

中絶薬を服用した46人中9人が病院に行っているが、これまで紹介した（イ）（ホ）（チ）（カ）合計4件以外は、痛みも出血その他問題はなかったと答えている。これまで紹介した4件も、1件の感染症の疑いがあった場合を除き、特に大きな問題はないが念のため病院に行った、と述べている。

表5 中絶後病院に行ったケース

5	中絶時週数、年齢	病院に行った理由	妊娠確認などの目的で既に病院にかかっていたか？	その他
イ*	10週、29歳	痛みも出血も予期していたより大きかったため、WoWの医師の勧めで、感染症が心配で、病院に行った。掻爬を受けた。	かかっていた。病院で超音波検査で妊娠確認。	表1と表2でも紹介。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。また、妊娠していることを誰にも知られたいくなかった。
ホ*	8週、27歳	中絶が始まった時の出血は多いと感じたが、出血もじきに少なくなり、中絶の症状は予期していた通りだったが、念のため病院に行く。超音波検査によると、内容物はほとんど残っていなかった。抗生物質処方。	かかっていない。市販の妊娠尿検査で妊娠確認。	表2でも紹介。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。子供が小さくて外科手術のために入院できない。
チ*	9週、27歳	超音波。中絶成功、内容物も残っておらず、特に治療・処置なし。いつ病院に行ったのか覚えていないが、中絶数週間後。念のため病院に行ったほうがいいと思った。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	表2でも紹介。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。
カ*	6週、36歳	出血も痛みも予期していたより軽かったため、中絶が本当に起こったのかと思い、念のため超音波検査を受けた。特に治療・処置なし。	かかっていない。市販の妊娠尿検査で妊娠確認。	表4でも紹介。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。
ヨ	7週、25歳	出血も痛みも予期していたより軽かった。念のため翌日病院に行った。抗生物質処方。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	出血・痛み・その他問題はなかった。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。
タ	8週、25歳	出血も痛みも予期していた通りだった。妊娠症状消えた。少量の出血が1週間。念のため中絶4日後に病院に行った。抗生物質処方。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	出血・痛み・その他問題はなかった。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。

レ	8週、43歳	出血も予期していた通り、痛みは予期していたより小さかった。中絶2日後に病院。抗生物質を処方。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	出血・痛み・その他問題はなかった。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額で、体にも心にも負担が大きく、イヤだと記載。
ソ	7週、38歳	出血も痛みも予期していた通り。中絶2週間後に病院。子宮内はきれいにて特に治療・処置なし。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	出血・痛み・その他問題はなかった。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。
ツ	7週、27歳	中絶が始まってからの出血の量は月経よりも多かったが予期していた通り。痛みも予期していた通り。中絶2週間後に病院。子宮内はきれいにて特に治療・処置なし。	かかっていた。病院の超音波検査で妊娠確認。	出血・痛み・その他問題はなかった。WoWでのオンライン診察の時点で外科手術は高額でイヤだと記載。これまで2度外科手術を受けたことがある。

大きな心配がないにもかかわらず病院に行く気持ちは、中絶は大変なことだという認識があるからだと思える。また、WoWに支援を求めてくる最も理由の一つに「外科手術が高額」とあることから、流産後の処置は保険がカバーする故に、流産後の病院に行くことは、中絶より敷居が低いだろう。中絶に対して懲罰的な態度を取りがちといわれる医療従事者も、自然流産に対しては同情的な対応だということもあるかもしれない。また、中絶薬が日本で承認されていないため、薬を服用したことがわかることが怖い、どのように説明したらいいかわからないなどの理由で、若干の心配があっても病院から足が遠のくことも考えらる。

一つ、特筆しておきたいことがある。病院に行った9人のうち7件は、妊娠した時の確認も病院の超音波検査で行っている。つまり、妊娠に関してすでに病院にカルテがあるケースがほとんどである。2021年にWoWに妊娠をした、と連絡してきた578件のうち、病院での超音波で妊娠検査した件数が124件、つまり全体の21%であった。454件である全体の5分の4は、市販の尿検査で妊娠を確認している。感染症などの心配がなくとも念のため病院に行き、超音波検査などで中絶成功を確認しているケースは、すでに病院にかかっていたからだとも考えられる。

薬を使った中絶を行なった後、病院に行き超音波検査をしてもらったことを否定的に捉えているのではない。WoWも「心配なことがあったらすぐに病院に行くように」「中絶後、超音波検査が一番確実な確認方法」と伝えている。健康を守るために病院で治療を受ける権利は誰にでもある。ただ、近い将来日本で中絶薬が承認されたら、入院が必須条件となるかもしれないと報道されている。しかし、入院は必ずしも必要ではなく、今回の調査で、中絶後に病院に行った人が大きな問題を抱えていたわけではないことを強調したい。また、最初に妊娠判定で病院にかかっていたから、中絶後に超音波検査を受けに行きやすい傾向があったであろうことも記しておきたい。

6. WoWを他の人に勧めないと答えた3人

WoWから支援を受けた女性たちのWoWの活動や、中絶薬を使った中絶への評価や満足度は高いことが分かるが、3人は「WoWを他の人に勧めない」と答えている。なぜだろう。彼女たちのコメントや、背景をながめると、中絶薬であっても、中絶そのものが孕んでいる事柄が見えてくる。日本での中絶を考えるためにも、紹介したい。

表6 WoWを他の人に勧めないと答えたケース

		外科手術経験	今回の中絶体験	コメント・背景その他
イ	10週 29歳	なし	出血も痛みも大きかった。WoWの存在、中絶薬には感謝しているが、罪悪感と落ち込み感を拭えない。	中絶のことは誰にも話したくない。日本では変な目で見られる。
ル	9週 26歳	2	WoWには感謝しているし、中絶薬も良かった。その点には全く不満なし。中絶が成功して解放感もあるが、罪悪感もある。	私は他所から引っ越してきて、この地に知っている人がいないので、気持ち的に何かあったら、と不安だった。中絶中、一人ではなかったけれど、田舎なので、どう思われるか分からないから、病院には絶対に行きたくなかった。中絶のことはもう話したくない。痛みや出血のこともこれ以上書きたくない。WoWのことも特に他の人に勧めたりしない。忘れたい。
カ	6週36歳	3	失望。でもほっとしたし、外科手術より負担も少なく満足している。WoWに感謝。	夫は避妊に協力してくれず、お金もないのに、これまで3回も外科手術をしました。もう夫とは絶対にセックスしたくない。夫と絶対にしない。これが私のこれからの避妊方法です。今回の中絶に関しても落ち込む気持ちばかりです。

中絶という出来事の評価には、WoWの支援の仕方・中絶薬で中絶をするという方法のみならず、望まない妊娠に至るまでの経過や環境が大きく関わることが分かる。中絶を選んだとしても、それが楽しい経験だとは言えないであろうし、「元の体に戻り安心した、でも生命への罪悪感を感じる」という感想を述べている人は少なくない。

おわりに

これまで紹介したデータによると、中絶薬に伴う大きな事故もないと考えられる。また、全般的に女性は満足している。しかし、これらのデータから、中絶薬のほうが外科手術より絶対に優れていると主張したいのではない。WoWは、訓練を受けた医師が行う外科手術のリスクはとて低く、結局最終決断を下すのは本人である、と認識しているし、また、何かあったら、すぐに病院に駆けつけるように指示している。病院での医療を否定しているのではない。また、望まぬ妊娠をした人がWoWに連絡をしてきた時、WoWスタッフはまず、その人が住む場所での中絶アクセス情報を提供している。基本的には、なるべくその人が住む場所で中絶を受けるほうがいい、という考え方である。

これまで紹介してきたデータから言いたいことは、二点である。まず、現在の日本の中絶を取り巻く制度や法律では、中絶を行うことができない女性が多々存在するという事実。今日の制度からあふれ出てしまう女性たちがWoWの支援により、問題を解決できている。女性たちの高い満足度はこの点にも依拠していると思う。

薬を服用する体験や、薬の評価は、薬が持つ効力や安全性のみならず、薬を服用する環境にも大きく影響される。例えば、中絶薬を選んだ人の46人の中にも、外科手術が高額でなく、母体保護法における「配偶者同意」も必要でなく、医療従事者の態度も懲罰的でなければ、中絶薬の選択があっても病院で外科手術を選んだ人もいるかもしれない。逆に、WoWに連絡をしてきたが様々な理由で日本の外科手術を受けることを選んだ人たちも、もし日本で中絶薬が承認されており、中絶薬に関する正しい情報が流布されている状況ならば、中絶薬を選んだかもしれない。ここから言えることは、現在の日本の法律・制度、そして中絶に対する一部の医療従事者が持つ懲罰的な考え方に、明らかに改善が求められているということである。今日の法律と制度では、意図しない妊娠を解決できない女性が少なからず存在する。

もう一点伝えたいことは、現在の日本のメディアが報道する中絶薬に関する情報は、WoWスタッフたちが日々接する女性たちの中絶体験とは大きくかけ離れているということである。メディアでは、最悪の事態の可能性が強調されて報道されている。また、認可されていない中絶薬を使っていた、ということそのものが、非合法、違法、事故という文脈で報道されている。これは中絶薬の効果や安全性の問題とは関係ない。

医療行為には常にリスクが伴うし、薬が承認され、病院に行くことができれば、最悪の事態になっても治療を受けることができるはずだ。また、中絶薬を服用した際の「最悪の事態」のリスクが非常に低いことは、様々な科学的データで報告されている。例えば、**Aiken et al (2021)**を参照。多くの先進国でそうであるように、日本でも、安全で安価な、女性が主体的に選択できる中絶を手に行うこと、そこへのアクセスが開かれることを望んでやまない。

中絶薬を使った中絶に関する学術論文

1. Aiken, Ara, PA Lohr, N Ghosh and J Starling (2021) "Effectiveness, safety and acceptability of no-test medical abortion (termination of pregnancy provided via telemedicine: A national cohort study)", in An International Journal of Obstetrics and Gynaecology, 129*8), pp. 1464-1474.
2. Endler, M., A Lavelanet, A Cleve, B Ganatra, R Gomperts, K Gemzell-Danielsson (2019), "Telemedicine for medical abortion: a systematic review", in An International Journal of Obstetrics and Gynaecology, Vol 126 (9), pp. 1094-1102.
3. Safety and acceptability of medical abortion above 9 weeks pregnancy
- 4.